



全国的に過酷な暑さが続いておりますが、読者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。
ニューズレターVol.195.8月号をお届けします。
是非ご一読いただき、皆様の活動にお役立てください。
今後も皆様の活動に有用な、できるだけ多くの情報をお届けしますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

編集部 一同

□■トップメッセージ■□

社会全体の「参加」で進める、小型家電リサイクル

中村 俊夫

リネットジャパンリサイクル株式会社 代表取締役社長

2024年12月、国家戦略としてサーキュラーエコノミーを加速化するという発表がありました。
私が代表を務めるリネットジャパンリサイクル株式会社は、小型家電リサイクル法の認定事業者として、700以上の自治体と協定を締結、動脈事業者（製造・販売）とも業務提携し、「使用済小型家電のリサイクル」という社会的課題に取り組んでいます。

様々な使用済製品がある中、小型家電リサイクルは、資源の有効活用と環境負荷の低減という観点から、今後ますますその重要性が高まっていく分野です。しかし、その回収・再資源化は、単なる技術や制度の整備だけでは成し得ません。多くの関係者との連携、すなわち社会全体での取り組みが不可欠です。

この取り組みを進める中で改めて実感しているのは、「社会全体の参加」が極めて重要であるということです。

自治体は住民への周知や制度構築に尽力いただき、動脈事業者はリサイクルの啓発や回収の仕組化等を行い、排出者である消費者は不要になった家電を適切なルートで処分する。こうした「三位一体」の協力があってこそ、リサイクルの輪が社会に根付き、持続可能な形で広がっていくのです。また、各関係主体がこの課題を「自分ごと」と捉え、主体的に取り組む姿勢が何よりも重要だと考えています。

今後は、リサイクルを“行動”として定着させるために、学校や地域と連携した環境教育の推進、企業のESG活動との連携拡大、そして国民一人ひとりの「知っている」から「やってみる」への意識変革を促す取り組みが重要だと考えています。

サーキュラーエコノミーは一部の専門機関だけが担うものではありません。持続可能な社会を実現するために、誰もが少しずつ役割を果たす—その積み重ねが、未来の社会をかたちづくれます。

社会全体を巻き込みながら、リサイクルを進めていく、当社としても行動を加速していき、小型家電リサイクルを通じた循環型社会の実現に貢献してまいります。

【プロフィール】



中村 俊夫（なかむら としお）

リネットジャパンリサイクル株式会社 代表取締役社長

1977 年生まれ

2005 年 リネットジャパングループ（株）入社

リユース事業（NETOFF）の新規事業開発等を担当

2012 年 新規事業としてリサイクル事業の開発をスタート

その後、リネットジャパンリサイクル（株）の代表就任

□■ 3 R ・ 気候変動検定からのお知らせ ■□

□■□ 「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」認定における試験免除のご案内 □■□

「国家戦略・プロフェッショナル検定」において「エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度」というものがありますが、資格のレベル認定における「試験免除」が実施されており、本検定合格者もその対象となります。

具体的には、「3 R ・ 気候変動検定」に合格された方で

- ◆ 2 年の実務経験（時期不問）があれば申請によってレベル 2 の認定取得が可能
- ◆ レベル 1 を申請の場合は、申請だけで認定の取得が可能（実務経験不要）となります。

詳細は、一般社団法人産業環境管理協会ホームページ（<http://www.jemai.or.jp/eemanager/about.html>）
または、内閣府ホームページ（<https://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html>）をご覧ください。

チーム一同

EXPO KYOTO 超 SDGs みらいラボ 出現！

大阪・関西万博 関西パビリオン 京都ブース
8月4日～17日「環境・SDGs」ウィークスに
EXPO KYOTO 超 SDGs みらいラボ 出現！



◆当日いけない…関西パビリオンの予約が取れない…という方に朗報！

8月20日～27日「万博展示がやってくる！」in 京都里山SDGsラボ「ことす」（京都市右京区京北周山）で2週間分の展示を、一挙大公開！

8月23日・24日には「京都超SDGsシンポジウム」を開催！

<https://www.kotos-kyoto.jp/3103>

◆地球環境ユースフェス@けいはんな

世界のユースたちと、わいわいがやがや交流しませんか？

お子様の夏休みの宿題対策にもおススメ！

<https://kyoto-youthsummit.com/news/07/397/>

◆今年もレベルアップのチャンス！

3R・気候変動検定 申込開始まで2週間！

<https://3r-cc.jp/>

8月23日（土）・24日（日）の2日間、

市内より少し涼しく、夏の里山の風が心地よい京北地域の廃校「ことす」にて、体験と対話にあふれたSDGsイベント「京都超SDGsシンポジウム」を開催いたします。

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6611/>

私たちが提案する体験型学習拠点「プラ・スクール」も、このイベント期間中に特別公開します。プラスチック問題を入り口に、「知って・感じて・動きたくなる」体験を通して、子どもから大人まで、楽しく持続可能な社会について学べる機会をご提案します。

また、シンポジウム期間中は、各分野の実践者が集う展示・体験・交流プログラムが多数展開されます。

京都駅から無料のチャーターバスも運行予定で、ご視察にも最適な機会です。

◆プラ・スクールとは？

自然に囲まれた廃校を活用した、プラスチックと“うまくつきあう未来”を考えるユニークな学習空間。小学生から社会人、消費者のみなさまを対象に、展示・体験プログラムを通じた環境学習を提供しています。8/23-24以外の訪問・研修なども受け付けております。

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6770/>

◆体験コンテンツ「プラのきもちゲーム」

すごろく形式のゲームでペットボトルになりきり、リサイクルの旅へ。

楽しく遊びながら、資源循環や環境問題を学べる教材です。

希望者に、無償でご提供しております。

<https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/6150/>

◆8/23-24の視察・参加について

環境団体、教育関係者、企業、自治体など、どなたでもご参加いただけます。

京都駅発の無料チャーターバスもご利用可能です（要事前申込）。

次のシンポジウム申込フォームからお申込みください。

<https://forms.gle/owmTgaKrXjWWtjfr9>

夏の京北の空気の中で、ゆったりと、しかし確かな学びと出会いのあるひとときをお届けできればと思っております。

暑中お見舞い申し上げます。

40 度という途方もない暑さに、地球沸騰を実感します。

そのような中、地球環境問題の解決に向けた対話の場、

EXPO KYOTO 超 SDGs みらいラボが、8 月 4 日～8 月 17 日の 2 週間、

関西パビリオン京都ゾーンで展開します。

しかし、関西パビリオンは予約抽選でもなかなか当たらないと涙のお声も頂いております。

そんな皆様に様子をお伝えしたいと考え、8 月 4 日から 2 週間、毎日 10:30 から 30 分程度、YouTube ライブ配信（録画あり）を行うことになりました。

是非どこからでも、ラボの様子をご覧いただき、万博の雰囲気味わってください！

<配信する YouTube>

<https://www.youtube.com/@sdgskyototimes6606/streams>

※展示や対話ラボの様子を、出展者とともにご紹介していきます！

レポーター：浅利美鈴（総合地球環境学研究所、京都ゾーン環境ウィークス・キュレーター）

ほか、地球研メンバー

<8 月 12 日（火）14:30-15:30 スペシャル中継イベント>

ゲストに、中島さち子さん（大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、音楽家、数学研究者、STEAM 教育家）ををゲストにお迎えし、プロデュースしておられるクラゲ館についてお聞きするほか、京都ゾーンの様子を紹介します。視覚障害のある方の街の認識や農業の仕方を体験する対話ラボ（京大院生・三好里奈さんとユースたち）体験や、京都光華女子大学ハナタバ×NPO 法人加音西京極作業所によるアップサイクルファッションショーへの飛び込み参加もあるかもしれません！同じ YouTube からの配信です。



中島さち子氏



浅利美鈴氏

<京都市内で、一挙大公開も！>

また、展示は週替わり、ラボは日替わりです。

全体の展示や出展者の交流の場として、廃校利用施設である京都里山 SDGs ラボ「ことす」(京北)にて、月末にイベントを企画しております。

8月20日～27日「万博展示がやってくる！」

& 8月23・24日「京都超 SDGs シンポジウム」@京都里山 SDGs ラボことす開催！

<https://www.kotos-kyoto.jp/3103>

→両日バスを出します。次からお申込みいただけます！プラ・スクールなどもご案内可能です。

<https://forms.gle/MNov62ajhh9nNHq9>

【1】ニュースレター「R」でつながるへの寄稿をお願いします！

寄稿を受け付けているのは次のコーナーです。なお、お寄せ頂いた方の中から、反響の多かった記事に（甲乙つけがたい場合は抽選で）素敵なプレゼントを差し上げます。プレゼントを希望される方は、希望番号もお書き添えください。

◆合格者の声：名前、活動エリア・都道府県、所属団体、なぜ受けようと思ったのか？受けてみての感想は？今後の活動の夢や目標は？公式テキストのおすすめページは？

◆読者の投稿コーナー

○イベント情報・宣伝：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）がこれから実施するイベントを紹介してください。ご自身のお名前（紹介者として掲載します）、イベントタイトル、日時、場所、概要（100字程度）、申込み方法、紹介WEBサイトなどをご連絡ください。

○イベント報告：自分や自分の所属する団体（行政や企業を含む）が実施したイベントについてご報告ください。写真なども添えて、楽しいご報告を！（200字以内）

○リーダーお薦め&お役立ち情報：3 R・気候変動に関連して、

「この本は目から鱗だった」

「このグッズはすごく3 Rだ」

「こんな勉強会をやったらとてもうまくいった」

「ここを訪ねたらとても勉強になった」

「ここの3 Rゆるキャラはよくできている」

などの耳より情報をお待ちしております。100～300字程度で。

◆今月の写真：3 R・気候変動に関連する写真に近況を添えて。

【応募方法】

- ・ 募集元：一般社団法人持続可能環境センター 担当：ニュースレター編集委員会
- ・ 応募先：ex@3r-cc.jp までお送りください。ご質問等はこちらへ。

【プレゼントの例】

- 1.合格者バッチ（定価：1,000 円）
- 2.書籍「環境学～21 世紀の教養～」（定価：2,700 円＋税）
- 3.高月紘（ハイムーン）お手製グッズ
- 4.本検定代表（浅利美鈴）のソロモン諸島お土産セット
- 5.ふろしき研究会提供のふろしき

【2】プロジェクトアイデア募集しています！

3 R・気候変動リーダーズクラブでは、「こんなことに取り組みたい！」「こんなことに取り組んでみたら？」という意見やアイデアなどもお待ちしております。ex@3r-cc.jp までご連絡ください

■最近のニュース

◆環境省

○令和7年度環境カウンセラーの募集について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00111.html

1. 環境省では、市民や事業者等が行う環境保全活動等に対して、豊富な知識と経験を活用して助言を行うことのできる方を環境カウンセラーとして登録する「環境カウンセラー登録制度」に基づき、令和7年度の環境カウンセラーの募集を開始します。
2. 募集期間は、令和7年7月1日（火）から同年8月29日（金）までです。

○公益財団法人日本サッカー協会との熱中症予防動画の作成について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00142.html

環境省では、熱中症予防の普及啓発の一環として、公益財団法人日本サッカー協会と連携し、会長 宮本恒靖氏とサッカー日本代表（SAMURAI BLUE）監督 森保一氏に出演いただき、熱中症予防に関する動画を作成しました。本動画は、環境省 HP や SNS をはじめとして、環境省が連携協定を結んでいる公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）にご協力いただき、日本全国のサッカーの各試合会場等において投影を行います。

【動画詳細は右記 URL より】 https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_library.php

○令和7年度使用済製品等のリユースに関するモデル実証事業の公募採択事業について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00158.html

1. 環境省では、令和7年3月14日（金）から同年4月25日（金）までの期間、使用済製品等のリユースに関するモデル実証事業において、広く情報発信・横展開を図ることを目的に、先進的な施策を実施する事業の公募を行いました。
2. 申請書類等から選考会による審査を行った結果、2件の事業を採択しました。

○令和7年度使用済紙おむつの再生利用等に関する自治体伴走支援事業の採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00102.html

1. 環境省では、使用済紙おむつの再生利用等を実効的に推進するための好事例を創出し、広く情報発信・横展開を図ることを目的に、使用済紙おむつの再生利用等に係る事業者や市民団体等と連携した施策を実施する自治体を、令和7年5月15日（木）から同年6月10日（火）まで募集しました。
2. 申請書類等から審査会による審査を行った結果、8件の事業を採択しました。

○脱炭素先行地域（第7回）募集について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00171.html

環境省は、2050年を待つことなく2030年度までに、カーボンニュートラルの実現を目指すと同時に地域の魅力と暮らしの質を向上させる脱炭素先行地域の第7回募集を、令和7年10月6日（月）から同年10月15日（水）まで行います。

【添付資料】

- ・脱炭素先行地域募集要領（第7回）

様式1_脱炭素先行地域計画提案書

様式2_脱炭素先行地域計画提案概要

- ・脱炭素先行地域づくりガイドブック（第7版）

※ 添付資料及びその他参考資料については、以下の URL を御参照ください。

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/preceding-region/boshu.html>

脱炭素先行地域とは

2030 年度までに民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴う CO₂ 排出実質ゼロを実現するとともに、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、わが国全体の 2030 年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域です。

○令和6年度プラスチック資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の結果及び一括回収等への移行に向けた市区町村向け手引きの改定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00200.html

1. 環境省では、令和6年度、プラスチック資源の効率的な収集・リサイクルの推進に資する先進的なモデル形成に取り組む地方公共団体を対象に、「令和6年度プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業」を実施しました。今般、本事業で採択した7事業における結果について取りまとめましたのでお知らせします。

2. また、この事業の成果をまとめて、市区町村がプラスチック資源の一括回収等に移行するための参考となる手引きを改定し、手引きに基づき、一般廃棄物のプラスチック使用製品廃棄物の分別収集を行う際の現状と移行後の環境性（CO₂ 排出量）と経済性（コスト）を概算するための簡易計算ツールを作成しましたのでお知らせします。

○第17回デコ活応援団会合の開催結果等について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00130.html

「デコ活」（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）の進展状況を報告します。

① 第17回デコ活応援団（官民連携協議会。会員数 2,456）会合を、令和7年6月27日（金）に開催しました。

② 前回報告（令和7年3月14日（金））以降、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る各主体の取組・製品・サービス等を36件、追加で御登録いただきました。

③ これまで累計 14,628 の組織・個人の皆様にデコ活宣言をしていただきました。

○令和7年度地域の資源循環促進支援事業「自治体 CE 診断・ビジョン作成」及び「循環型ビジネスモデル実証事業」の公募の採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00150.html

「自治体 CE 診断・ビジョン作成」及び「循環型ビジネスモデル実証事業」について、公募を行い、審査の結果、自治体 CE 診断・ビジョン作成 39 件、「循環型ビジネスモデル実証事業」15 件を採択しましたのでお知らせします。

○令和6年度補正予算地産地消型資源循環加速化事業（モデル事業）の公募採択結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00242.html

1. 環境省では、令和7年4月25日（金）から同年5月28日（水）までの期間、再資源化が困難である複合素材（金属・木材・プラ等）、焼却灰や建設系の木質廃棄物、SAF原料等の資源性廃棄物について、回収・選別・再資源化に係る技術面での実施可能性や事業性の調査分析等の公募を行いました。

2. 申請書類等から選考会による審査を行った結果、7件の事業を採択しました。

○「バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業」への参加企業・支援機関及び業界団体等の決定について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00045.html

令和7年5月13日（火）から同年6月16日（金）まで参加企業・業界団体等を募集していた「バリューチェーン全体での脱炭素化推進モデル事業」について、業種、事業内容、本事業で取り組みたい内容、他企業・団体への波及性等を総合的に検討し、（1）個別バリューチェーン（個別VC）支援において3グループ、（2）業界団体・企業群支援において3グループ、合計6グループを参加企業・団体等として決定しました

○第16回日本・モンゴル環境政策対話の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_01661.html

1. 2025年6月27日に日本国環境省とモンゴル国環境・気候変動省は環境分野における両国の協力の強化・促進・発展を目的とした「日本国環境省とモンゴル国環境・気候変動省の間の環境協力に関する協力覚書」を更新する署名式を開催するとともに、第16回目となる日本・モンゴル環境政策対話を開催しました。

2. 政策対話には、松澤地球環境審議官及びウルトナサン・モンゴル国環境・気候変動省事務次官等が出席、気候変動対策、大気汚染対策、生物多様性等について議論が行われ、各分野における今後の協力の方向性を協議しました。

○インドネシアにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム及びビジネスマッチングを開催します

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00245.html

1. 日本国環境省、インドネシア共和国経済担当調整府（CMEA）及び環境省（KLH）の共催により、2025年8月21日（木）にインドネシア・ジャカルタにおいて、インドネシアにおける二国間クレジット制度（JCM）へのビジネス参画促進に関するフォーラム及びビジネスマッチング

「Forum on Promoting Business Engagement and Matching through the Joint Crediting Mechanism (JCM) to Expand Indonesia's Carbon Market」を開催します。

2. 本フォーラムでは、日インドネシア両国の民間企業や関係省庁等を招いて、インドネシアにおけるJCMの実施状況や、JCMに関連する昨年11月に両国で署名した相互承認取決め（MRA）やインドネシア国内の炭素クレジット認証制度（SPEI）といった最新動向を紹介します。

3. また、JCMの実案件形成の促進に向けて、JCMで活用できる先端技術やソリューションを紹介するビジネスピッチプレゼン及び個別商談会も実施します。

4. これにより、インドネシアにおける脱炭素プロジェクト形成を後押しします。

○アフリカのきれいな街プラットフォーム第4回全体会合開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00281.html

環境省は、独立行政法人国際協力機構（JICA）、横浜市、国連環境計画（UNEP）及び国連人間居住計画（UN-HABITAT）とともに、横浜で行われる第9回アフリカ開発会議（TICAD 9）のパートナー事業として、「アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP）」第4回全体会合を、令和7年8月20日（水）・21日（木）に横浜で開催します。

本会合では、アフリカ諸国が直面する廃棄物管理の課題に関する発表・意見交換するとともに、今後3年間の活動を示す「新・横浜行動指針」を発表する予定です。

また、アフリカにおける公衆衛生の改善に向け、世界銀行等国际開発機関等への廃棄物インフラプロジェクト要請を促進すべく、新たに設立した「アフリカ向け廃棄物管理のための事業形成ファンド」について、同会合中の設立記念レセプションにおいて、発表する予定です。

○再資源化事業等の高度化に関する認定基準検討ワーキンググループ（第4回）の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00289.html

1. 再資源化事業等の高度化に関する認定基準検討ワーキンググループ（第4回）を令和7年8月6日（水）に開催しますので、お知らせします。
2. 本ワーキンググループは、対面会議及びオンライン会議形式にて開催し、傍聴者向けにライブ配信を実施します。

○「アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ第22回会合（WGIA22）」の結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00342.html

<国立研究開発法人国立環境研究所同時発表>

1. 2025年7月15日～18日に「アジアにおける温室効果ガスインベントリ整備に関するワークショップ第22回会合（22nd Workshop on Greenhouse Gas Inventories in Asia (WGIA22)）」をカンボジア環境省と共催の下、カンボジア・プノンペン（一部オンライン）で開催しました。
2. WGIAメンバー国15か国のほか、国際機関、研究者等の総計144名（オンライン参加を含む）が参加し、温室効果ガスの排出量・吸収量の算定方法、報告ツールの使用法といったパリ協定の透明性枠組に関わる能力向上支援と、地域間のネットワークの更なる強化を図りました。

○「第1回資源循環自治体フォーラム」の開催について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00285.html

環境省、大阪府、3R・資源循環推進フォーラムは、令和7年9月12日（金）に、大阪府立男女共同参画・青少年センターにおいて、「第1回資源循環自治体フォーラム」を開催します。

<概要>

環境省は、令和6年12月に循環経済に関する関係閣僚会議（第2回）で決定された「循環経済への移行加速化パッケージ」に基づき、循環経済の移行に向けて各般の施策を推進しております。

この一環として、廃棄物等を資源として有効に活用し、付加価値を生み出し、新たな成長につなげ、新規ビジネスの創出、地域課題の解決や地方創生につなげるため、関係閣僚会議を構成する各府省庁が一堂に会して国の最新政策を発表するほか、先進的な自治体の取組事例の情報共有を行うとともに資源循環のテーマごとに自治体と企業が意見交換できる「第1回資源循環自治体フォーラム」を開催いたします。企業または自治体との連携や地域課題の解決、新規ビジネスの創出の機会に奮ってご参加ください。なお、大会への参加は事前申し込みが必要です（ライブ配信含む）。

○第6回日中海洋ごみ協力専門家対話プラットフォーム会合及び第6回日中海洋ごみワークショップの結果について

⇒ https://www.env.go.jp/press/press_00117.html

1. 2025年7月1日（火）に、第6回日中海洋ごみ協力専門家対話プラットフォーム会合及び第6回日中海洋ごみワークショップを開催しました。

2. 本会合には、日本国環境省、中華人民共和国（中国）生態環境部、両国の大学・研究機関、地方公共団体、公益財団法人、企業の専門家が出席し、プラスチックの環境中への流出源・経路・分布、海洋ごみのモニタリングに向けた革新的な手法と科学技術、国及び地域における海洋ごみ対策、普及啓発・教育・市民参加の取組等について議論を行い、今後も日本と中国の間において、海洋ごみに関する協力を継続していくことで一致しました。

◆経済産業省

○大阪・関西万博で循環経済を楽しく学ぶ体験型催事「サーキュラーエコノミー研究所」を開催します

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/07/20250724003/20250724003.html>

経済産業省は、大阪・関西万博 EXPO メッセ屋内展示場「WASSE」南ホールにて、「科学漫画サバイバル」シリーズ（朝日新聞出版）とコラボレーションし、循環経済（サーキュラーエコノミー）の認知拡大及び資源循環に繋がる行動を学べる体験型催事「サーキュラーエコノミー研究所」を、2025年9月23日（火曜日）から9月29日（月曜日）までの7日間限定で開催します。

○プラスチック使用製品設計指針に基づく4製品分野における設計認定の基準を公表しました

⇒ <https://www.meti.go.jp/press/2025/07/20250724001/20250724001.html>

プラスチック使用製品設計指針に基づく設計認定の基準として、清涼飲料用ペットボトル容器、文具、家庭用化粧品容器、家庭用洗剤容器の4分野を策定いたしました。

プラスチック資源循環促進法において、特に優れたプラスチック使用製品の設計を主務大臣が認定する制度を設けています。この認定を受けるためには、製品の総合的な評価及び情報等の公表を実施するとともに、今般公表した設計認定基準に適合する必要があります。認定を受けた製品については、グリーン購入法上での配慮やリサイクル設備への支援等を通じて利用促進を図り、プラスチックの資源循環を推進していきます。

■各種情報・イベント等

■行政関係

◆宮城県

○「みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 県民会議団体会員の連携によるフードドライブ実証事業の実施に関する協定」を締結しました

⇒ <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/r7-fooddrive.html>

◆山形県

○持ち歩こう！マイボトル運動

⇒ <https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/mybottle.html>

◆福島県

○フードシェアリングサービス「タベスケ」導入自治体を紹介します

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/tabesuke-syokai.html>

○食べ残しゼロ協力店・事業所」認定店の取組を紹介します

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/foodloss-ninteiten.html>

○生ごみ削減にチャレンジ！

⇒ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16045a/namagomisakugen.html>

◆茨城県

○クイズで「エシカル度チェック」キャンペーンを実施中です！

⇒ <https://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/syose/navi/admin/ethical/campaign.html>

○「いばらきフードロス削減取組宣言」の募集開始について

⇒

<https://www.pref.ibaraki.jp/somu/hodo/hodo/pressrelease/hodohappyoushiryou/2203/documents/250703kankyouseisaku.pdf>

◆埼玉県

○「大戸屋食べきりチャレンジ」を始めました！～食品ロス削減を親子で学ぼう！～

⇒ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0507/news/page/news2025070101.html>

◆千葉県

○食品ロスを減らそう！株式会社大戸屋による「ちばエコ食べきりチャレンジ」の開始について

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/press/2025/ootoya-ceccotabekiri.html>

○リチウム蓄電池の廃棄方法について

⇒ <https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/3r/lithiumdenchi.html>

◆東京都

○3R オンライン相談窓口開設のお知らせ

⇒ <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/07/2025070304>

◆福井県

○ごみを減らして家計もたすかる 家族で1週間・300g チャレンジ

⇒

<https://9a35b2b1.viewer.kintoneapp.com/public/file/inline/6e133df0cc08a00aef428e6666f487d089e042a376168a0bb18ee201250b5952/20250703231715425CC1685E4E4523A9B4FAC9FA0B3B92271>

◆愛知県

○「おいしく食べきりレシピコンテスト in あいち」のレシピを募集します

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/r7foodloss-recipe.html>

○「海洋ごみを楽しく学ぼう！バスツアー」の参加者を募集します

⇒ <https://www.pref.aichi.jp/press-release/marine-debris-tour2025.html>

◆大阪府

○オフィス向け、リユースカップシェアリングサービス実証事業を開始します！

⇒ https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o120050/prs_50547.html

◆岡山県

○海ごみ削減キャンペーン「おかやまゴミ退治大作戦」実施中！

⇒ <https://www.pref.okayama.jp/page/907697.html>

◆佐賀県

○プラスチック代替製品の導入に対し補助事業を実施しています

⇒ <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003106845/index.html>

◆熊本県

○エコライフ体験教室♪

⇒ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/50/241316.html>

◆札幌市

○リユース活動の促進に向けた連携協定を締結しました！

⇒ https://www.city.sapporo.jp/seiso/gomi/genryo/reuse_kyotei.html

◆仙台市

○令和7年5月の家庭ごみ量速報をお知らせします

⇒ <https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/chosa/data/sokuho.html>

◆千葉市

○千葉市のごみ量

⇒ <https://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/haikibutsu/herasou.html>

◆横浜市

○自治体初 食品ロス削減にツール活用で連携します

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2025/2025syokulosstyosa.html>

○小学生と企業が、地球の環境を守る！～今年で22年目！「こども『エコ活。』大作戦！2025」スタート～

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kankyo/2025/0718ecokatsu.html>

○AIを活用した資源ごみ選別ロボットの自動化実証実験を早稲田大学、株式会社イーアイアイ、伊藤忠マシンテクノス株式会社と共同で開始します

⇒ <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/shigen/2025/senbeturobo20250718.html>

○よこはま特別編：買い物からリサイクルまで エコラベルハンター2025

⇒ https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/gomi-recycle/gakushu/ecolabel_hunter.html

◆川崎市

○ごみゼロカフェ「プラごみゼロでつくろう！明日のかわさき」

⇒ <https://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/261-2-13-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆新潟市

○古紙の正しい分別・出し方にご協力を！～サイチョypress最新号掲載しました～

⇒ <https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/gomi/keihatsu/kankobutsu/saicypress/index.html>

◆浜松市

○PASSTO で衣類・雑貨類をリユースしてみませんか？

⇒ <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/ippai/gomi/genryou/passto.html>

◆京都市

○「京都市の地元企業によるプラスチック資源循環への挑戦」第5弾 ー廃プラスチックからのものづくり編ー ～京都市公式 YouTube「きょうと動画情報館」にて配信開始～

⇒ <https://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000343624.html>

◆大阪市

○阿倍野区役所で食品ロス削減の取組「フードドライブ」を行います【令和7年8月24日(日曜日)開催】

⇒ <https://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/page/0000493428.html>

◆堺市

○8月17日(日曜)アリオ鳳エコフェスタ～ミニゲームや工作でごみ減量を学ぼう～

⇒ https://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/gomi/gomi_recy/recycle/arioecofesta.html

◆岡山市

○【SDGs イベント】「未来わくわく SDGs フェスタ」を開催します

⇒ <https://www.city.okayama.jp/sdgs-esd/0000073578.html>

◆福岡市

○使った油は廃食用油の回収ボックスへ

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigomi/life/shiyouzumishokuyouabura.html>

○なくそう不法投棄！

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/sanhai/hp/fuhou.html>

◆岩見沢市

○令和7年度環境美化標語の募集

⇒ <https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/kosodate/nenreibetsu/chugakusei/15880.html>

◆松本市

○第4回もったいないクッキンググランプリ

⇒ <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/site/no-foodloss/172562.html>

◆吹田市

○「Fry（使用済み油で）to Fly（空を飛ぶ）！」家庭で使った使用済み油の回収にご協力を。プレゼントキャンペーン実施中！

⇒ <https://www.city.suita.osaka.jp/sangyo/1018079/1018080/1039068.html>

■団体関係

◆ガラスびん3R促進協議会

○Web サイトガラスびんの軽量化事例を更新しました

⇒ https://www.glass-3r.jp/consumer/index1_c.html

○令和5年度分別基準適合物引渡量と自治体アンケート集計結果とのクロス分析報告書を公表

⇒ https://www.glass-3r.jp/gover/recycle_tr/cr_analysis.html

◆(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

○産廃振興財団 WEB JOURNAL 第6号 2025年夏号を発行しました

⇒ <https://www.sanpainet.or.jp/journal.php?id=6>

◆(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

○メールマガジン「JW センターNEWS」第226号発行のお知らせ

⇒ <https://www.jwnet.or.jp/info/mailmag/backnumber/no226.html>

○機関誌「JW センター情報」夏号発行のお知らせ

⇒ <https://www.jwnet.or.jp/info/kikansi/index.html>

◆日本生活協同組合連合会

○日本生協連、コープ商品の米の新パッケージで 石油由来プラスチック使用量を年間約37トン削減 ～7月より植物由来ポリエチレンを使用した包材へ切り替え～

⇒ https://jccu.coop/info/newsrelease/2025/20250626_01.html

◆PET ボトルリサイクル推進協議会

○「PET ボトル再利用品カタログ」を更新し、公開しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/product/catalog/>

○統計データ「使用済み PET ボトルの輸出状況」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/achievement.html>

○統計データ「PET ボトルの再商品化実績」を更新しました。

⇒ <https://www.petbottle-rec.gr.jp/data/achievement.html>

■参加者募集

◆大阪府

○「幼児期の環境教育研修会」を開催します！

⇒ https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o120020/prs_51191.html

■意見募集（パブリック・コメント）

◆名古屋市

○「資源・ごみ持ち去り防止対策に関する基本的な考え方」に対するパブリックコメントの実施について

⇒ <https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000188590.html>

■その他募集

◆島根県

○令和7年度 しまねグリーン製品+(プラス)の募集を開始しました。

⇒ <https://www.pref.shimane.lg.jp/infra/kankyo/kankyo/junkan/s-green/index.html>

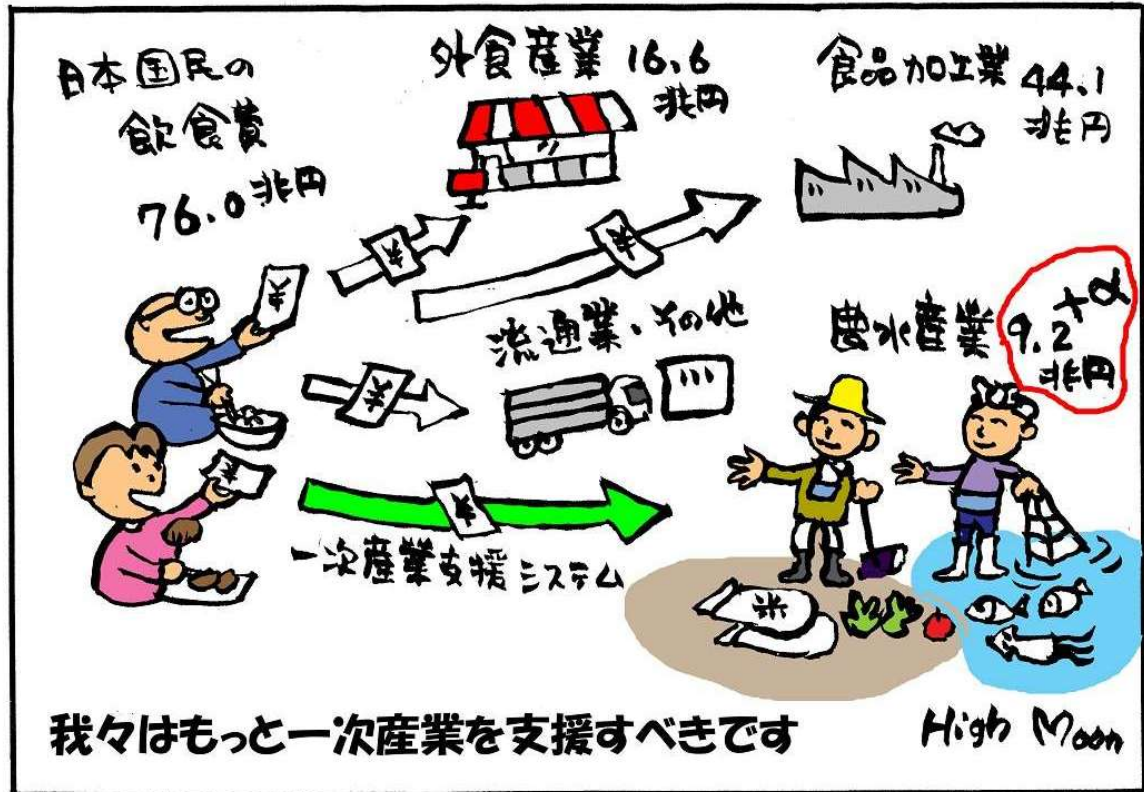
◆福岡市

○令和7年度 第11回 小・中学生ポスターコンクール作品の募集について

⇒ <https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/jigyokeigomi/hp/posuta-konku-boshuu.html>

第20回：一次産業への支援（ゴミック新作集 18-3 より）

最近、スーパーに並ぶ食品類の値段は高止まりをされていて、われわれ庶民を悩ませている。そもそも、われわれ日本人は食事にどれくらいお金を支払っているかを統計的に調べてみると、2020年では年間76.0兆円に上っている。しかしながら、その大半は、加工食品産業と外食産業に費やされていて、食品の原料を生産している農水産業の生産額は9.2兆円（12%）にしか過ぎない。我々はもっと一次産業を支える仕組みが必要ではないだろうか？



作者註： 食品の原料を生産する人を支える仕組みが必要です

「連載：3R・気候変動マンガ集」には、毎回、3R分野と気候変動分野にちなんだ作品を「ハイムーン工房ギャラリー」の「ゴミック新作集」(<https://highmoonkobo.net/>) からピックアップして紹介します。

なお、ハイムーン氏は氏が作成したマンガ、イラストについては基本的には著作権主張されず、むしろ多くの人に活用されることを望んでおられます。例えば、環境NPOのニュースレター、各自治体の廃棄物対策用啓発パンフレット、教育現場での教材などには、紙媒体だけでなく電子媒体でも活用可能です。イラスト利用の場合は出来れば「ハイムーン工房のホームページより」などと出典を明記していただければ幸いです。但し、企業の営利にかかわるものへの活用はお断りされています。

また、ハイムーン工房のギャラリー作品は一つの作品に3つの解像度（オリジナル、中サイズ、小サイズ）のものを用意されていますので、要望に合わせてダウンロードして活用ください。

作品についてのさらなる要望（たとえば白黒画像など）があれば、直接、ハイムーン氏へ下記電子メールで連絡してください。

■プロフィール：高月 紘

【略歴】1941年京都府生まれ。1965年京都大学工学部卒業、1977年京都大学工学博士、1985年京都大学環境保全センター教授。京都大学名誉教授 工学博士（廃棄物処理）。

京エコロジーセンター前館長。公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 前理事長。日本漫画家協会会員。

【コンタクト】ハイムーン工房：URL <http://highmoonkobo.net/> 電子メール：em.highmoon@gmail.com

1. 温暖化関連ニュース

脱炭素チャレンジカップ 2026 エントリー開始！

<https://www.jccca.org/news/362377>

うちエコ診断士資格試験公式テキストの販売について

<https://www.jccca.org/news/362392>

2. 温暖化関連イベント情報

【募集】「令和7年度 気候変動アクション環境大臣表彰」のご案内

https://www.jccca.org/event_info/357463

「第17回 環境教育ポスターコンクール」のご案内（主催：公益財団法人こども教育支援財団）

https://www.jccca.org/event_info/353775

令和7年度(第12回)うちエコ診断士資格試験 申込受付開始のご案内

https://www.jccca.org/event_info/367568

【参加無料】ゼロカーボン相談会 開催のご案内（川口市）

https://www.jccca.org/event_info/369884

【参加無料・事前登録制】JCI×GCNJ 共催セミナー「気候変動と人権」開催のご案内

https://www.jccca.org/event_info/366447

【参加無料】第23回環境問題の現況と将来を展望するセミナー「異常気象 その実態と対応」開催のご案内

https://www.jccca.org/event_info/369885

<お願い>

JCCCA ウェブサイトでは、温暖化関連イベントの情報を掲載しています。

掲載希望のイベントがございましたら、下記の URL からご連絡をお願いいたします。

<https://www.jccca.org/otoiawase/event-form>

発行者：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）

<https://www.jccca.org/>

私は年に数回、富士山方面に出かけると、必ず山中湖に寄って、チェリーパイを食べて帰ります。先週末も通り慣れた湖畔道を走っていると、運転席の妻が、「あっ、鹿だ！」というので、側道に車を止めて見ると、2頭の鹿がこちらを見えています。その先に目を移すと、木々の間にはさらに数頭の鹿が見えました。

気になって調べると、鹿（ニホンジカ）の推計生息数が全国的に激増（2015年度あたりから高止まり）し、分布域も拡大したのだそうです。その原因として、地球温暖化により降雪が減少し、冬季でも鹿が活動して餌が得られること、加えて山林の周辺で暮らす人口の減少により「耕作放棄地」が増加し、ハンターも減少、高齢化していることがあげられるのだそうです。

人間の開発行為に起因する地球温暖化と人間社会の変化によって、鹿の増加の影響がコントロールできなくなり、自然共生のバランスが崩れ、森林の破壊や水源への悪影響、土砂災害の危険、農作物の被害など、人間の生活が脅かされる状況にあることを知りました。



山梨県山中湖村の山中湖畔にて
写真撮影・文責：村岡良介

□■編集後記■□

今月号も、話題と言えば猛暑になりますね。熱中症対策や夏バテ防止などの体調管理でしょうか。しかも長期戦が予報されています。夏のレジャーやイベントも、太陽の下に心身を開放し、汗を流して、日焼けして楽しむことよりも、遮光・遮熱して、身を守り、安全に、快適な環境の中で楽しむ手段や道具に注目が集まっているようです。解放される夏から拘束される夏に様変わりしているような。(R.M.)

お気に入りの画像にメッセージを添えて、「今月の1枚」を投稿しませんか？

「合格者の声」の投稿も歓迎します！

本ニュースレターを読者の皆様ご自身の活動紹介や情報発信、交流の場に活用してください。

編集メンバー：浅利美鈴（総合地球環境学研究所）、村岡良介（日本環境衛生センター・村岡環境カウンセラー事務所）、山田大智（京都大学）

協力：3R・資源循環推進フォーラム、全国地球温暖化防止活動推進センター

□■お問い合わせ窓口■□

◆一般社団法人 持続可能環境センター◆

〒604-8874 京都市中京区壬生天池町 27-4 Tel : 075-708-8144 FAX : 075-708-8153

◆3R・気候変動検定 検定事務センター◆

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-16-13 堺筋ベストビル 9 階 一般財団法人 環境事業協会内

電話 : 06-6210-1720 Website: <https://3r-cc.jp> E-mail : ex@3r-cc.jp

Twitter ID: @3r_lcs_kentei (https://twitter.com/3r_lcs_kentei)

Facebook ID: @3rteitanso (<https://www.facebook.com/3rteitanso/>)

受付時間 9 : 00 - 17 : 00 (12 : 00 - 13 : 00 を除く) 休業日 : 土・日・祝・年末年始 (12 月 28 日 ~ 1 月 5 日)